

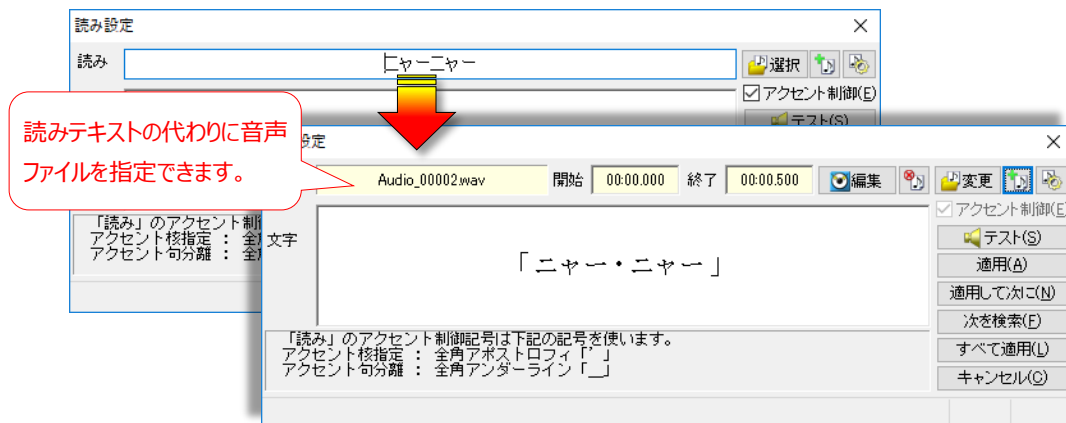
ChattyInfty3(AITalk 版) Ver3.20 新機能

2017/12/27

1. 読み設定で音声ファイルを指定

読み設定で、音声ファイルを指定することが出来るようになりました。

事前に用意した音声ファイルや、音声編集ツール(別途必要)を使って録音した声などを読み設定として登録することが出来ます。人の声だけでなく動物の鳴き声や自然の音、音楽など、様々な音を利用できます。



(1). 音声編集ツール(別途必要)と設定

声を録音したり音声ファイルを編集するためには、別途外部ツール(ソフトウェア)が必要です。

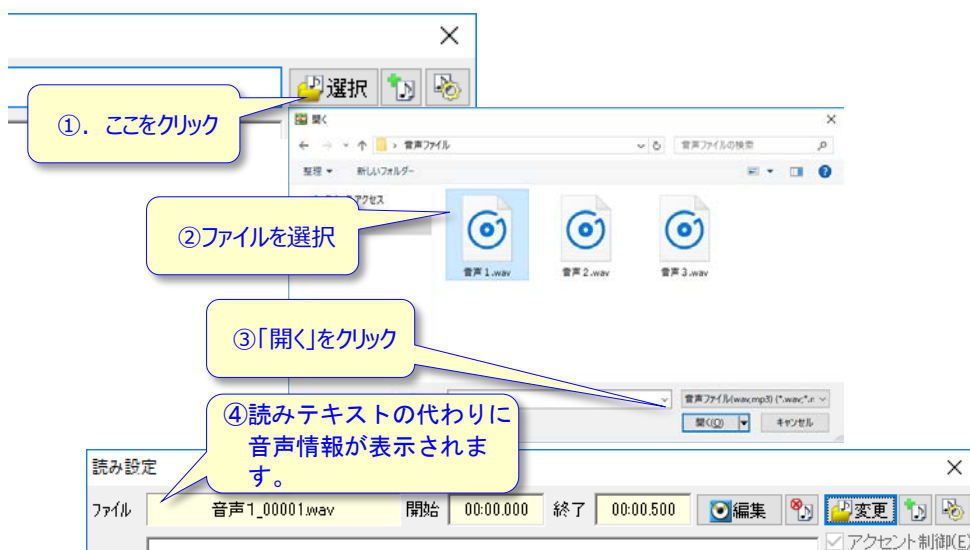
フリー(無料)で利用可能なものを多く存在しますが、ChattyInfty3では「SoundEngine(サウンドエンジン)」をデフォルトで利用できるようにしています。

SoundEngineの入手方法やインストール・操作方法などは、<http://soundengine.jp/> を参照してください。

SoundEngineをインストールしたあとで、ChattyInfty3を実行すると自動的に利用可能な状態になります。(SoundEngineのインストール先などは変更しないこと)

(2). 音声ファイルを設定する

音声ファイルを設定するには「変更」ボタンをクリックします。

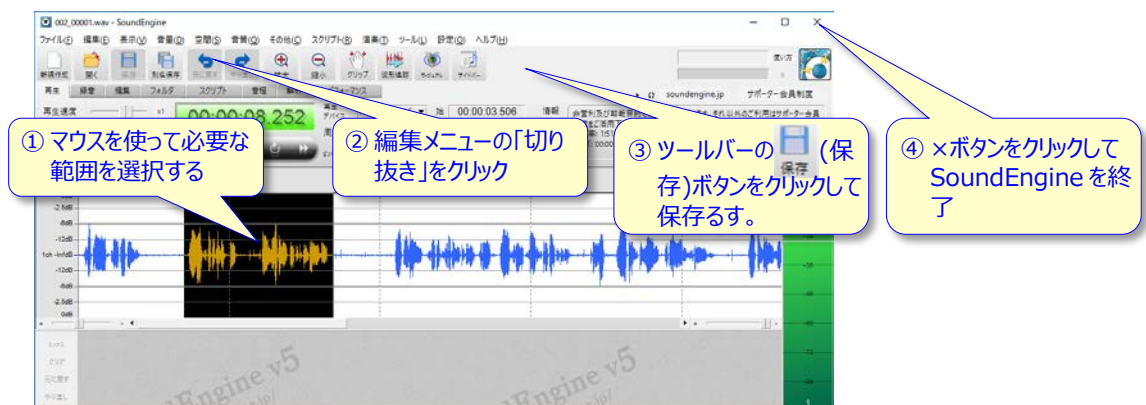


音声ファイルは自動的にコピーを作っ、そのコピーを読みとして利用しますので、元のファイルが変更されることはありません。

(3). 音声ファイルを編集する



設定した音声ファイルを編集するには、 ボタンをクリックします。(ボタンのアイコンは外部ツールにより異なる場合があります)

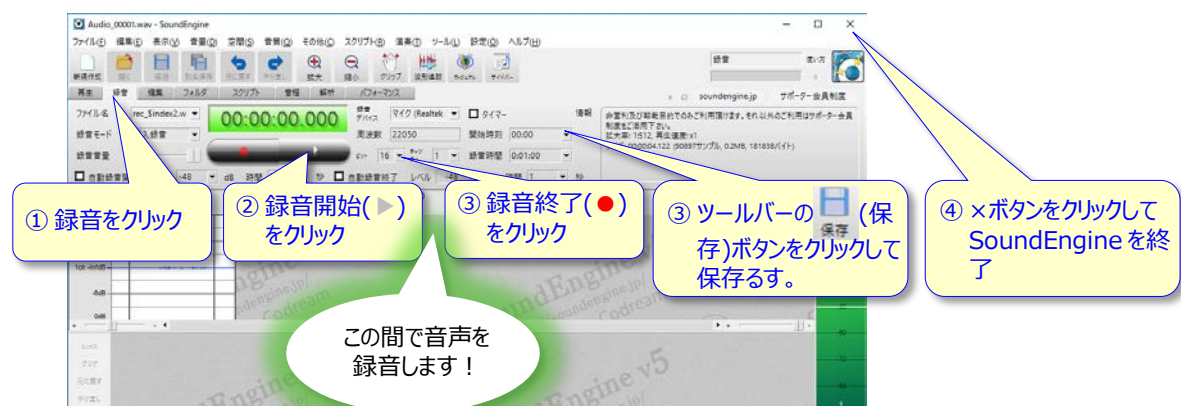
下記はSoundEngineを使って、音声ファイルから必要な部分のみを切り出す操作の例です。



SoundEngineの詳しい操作方法は (http://soundengine.jp/wordpress/soundengine_help/) を参照して下さい。

(4). 新規に音声を追加する(録音など)

新規に音声を追加するには、 ボタンをクリックします。0.5秒の無音ファイルが出来上がりますので、 ボタンをクリックしてSoundEngineを実行します。

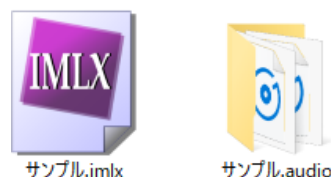


録音した際の無駄な部分は、前節の「音声ファイルを編集する」と同じ操作でカットして下さい。

(5). 音声ファイルの場所と管理

ChattyInfty3のコンテンツファイル(IMLX)の音声ファイルは、ファイルと同じ場所の”ファイル名+.audio”という名前のフォルダ保存されます。

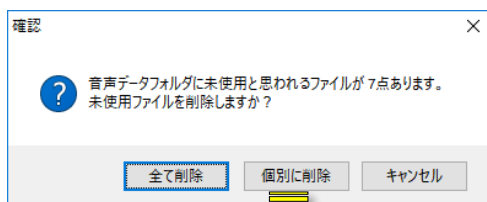
例えば、C:¥TEMP¥サンプル.imlxの音声は、C:¥TEMP¥サンプル.audioフォルダの中に音声ファイルが入っています。



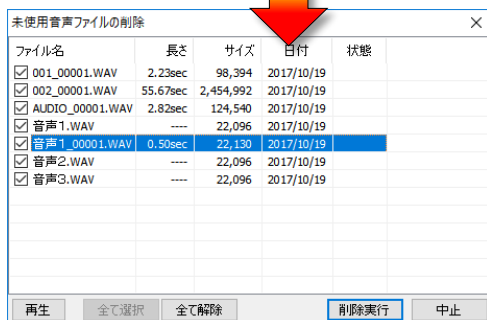
【重要】 ファイルを別の場所にコピーする場合などは、この”.audio”フォルダも一緒にコピーして下さい。

また、音声設定の追加や削除を行うと、.audioフォルダ内に無用な音声ファイルが残ってしまう場合があります。

無用なファイルが存在する場合は、次回にコンテンツファイルを開いたときにチェックプログラムが実行されて、下記のようなメッセージが表示されます。




「全て削除」を選択しても特に問題はありませんが、再利用したい音声があるか確認したい場合は「個別に削除」をクリックして下さい。

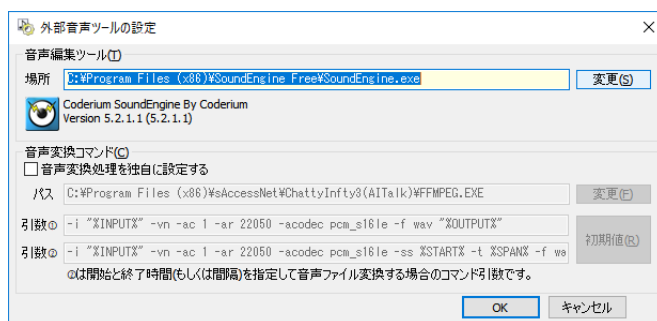


「個別に削除」をクリックすると、左図のような画面が表示されますので、音声を再生して内容を確認することが出来ます。

※ 長さの欄が“----”となっているものは、新規に作成した0.5秒のファイルで、設定を中断した場合などに残ってしまったものです。

(6). その他の音声編集ツールの利用

その他の音声編集ツールを利用するには、読み設定画面の右上端にある  ボタンをクリックして、外部音声ツールの設定画面を呼び出します。



「変更(S)」ボタンをクリックして、任意のツールを選択して下さい。

音声変換コマンド(C)は、音声ファイルを取り込む際の変換コマンドを設定するためのもので、通常は設定を変更する必要はありません。

(7). その他の注意事項

- ・ 声を設定した読み設定範囲は、強制的にハイライト分割されます。
- ・ 読み指定に音声を使ったコンテンツはChattyInfty3 SAPI5版では再生することが出来ません。
- ・ 音楽データや他者作成の音声ファイル等は著作権法に触れる場合がありますので、使用の際は十分に注意して下さい。